

## Sumitomo Mitsui Banking Corporation Brazil DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

## マーケットサマリー

昨日は中国株の急落やギリシャの政情不安、FRBによる利上げ時期の前倒し観測を牽制するレポートなどを背景に、米雇用統計後に積み上がったドル買いポジションの巻き戻しが急激に進行。グローバルにリスク回避の動きが強まった。週初に公表された中国11月貿易統計の悪化に加えて、中国政府はトリプルAより低い格付け、またはダブルAより低い格付けの発行体の債券を担保としたレポ取引の新規申請を受理しないことを公表。これが上海株の急落を招いたと見られる。また、ギリシャに関しては茲許マーケットの主要テーマとして浮上していなかったが、ギリシャ政府が来年2月15日に予定されていた大統領選挙を今月に前倒ししたことを受け(サマラス首相率いる連立政権が大統領選出に必要な議席を獲得できなければ議会は自動的に解散・総選挙となり、政治的混迷が生じる可能性が高まる)、再びマーケットのリスク要因として台頭した。ドルレアルスポット相場は、2. 61台半ばまで上昇する局面も見られたが、一時2. 58台半ばまで急落。茲許ではドル買い優勢の展開が続いていたが、上記を材料に調整色が強まった。ボベスパ株式指数も大台の50, 000を割り込んで推移していたが、引けにかけては買い戻しが進んだ。

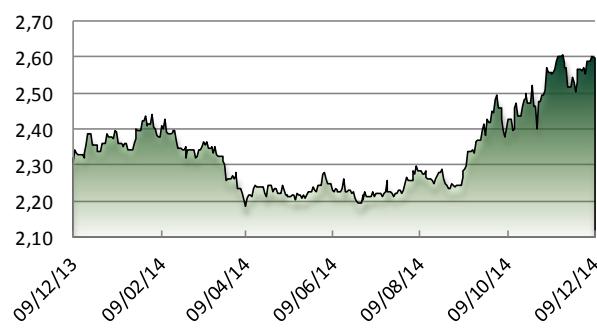
トンビニ総裁は昨日、現在実施している為替介入プログラムを来年以降も継続するかどうか、今後2週間のマーケット状況を確認した上で判断すると発言した(同プログラムは2013年8月に導入され、これまで2回延長されている)。米利上げ観測やブラジル経済のファンダメンタルズ悪化を初めとしてレアル売り圧力が高まっている環境下、仮に通貨スワップの新規積み増しの縮小・停止が決定されれば、レアルのさらなる売り材料と市場に見做される可能性もあるため、その動向に注視したい。

## マーケットデータ

Indicator	Unit	12月8日	12月9日	前日比	11月7日	1ヶ月前比
BRL / JPY Spot	JPY	46,41	46,13	-0,28	44,79	+1,34
USD / BRL Spot	BRL	2,6004	2,5960	-0,0044	2,5587	+0,0373
USD / JPY Spot	JPY	120,69	119,69	-1,00	114,60	+5,09
Bovespa (ブラジル株価指数)	Index	50.274	50.193	-81	53.223	-3.030
CDS Brazil 5yrs (クレジットデフォルトスワップ)	bps	175,2	176,4	+1,2	170,8	+5,6
Brazil 10yrs Gov. Bond	%	12,20	12,25	+0,05	12,61	-0,36
DI Future Jan16 (金利先物)	%	12,48	12,47	-0,01	12,39	+0,08
3 Months US Dollar Libor	%	0,238	0,238	+0,000	0,233	+0,005
CRB Index (国際商品指数)	Index	248,1	251,1	+3,0	270,7	-19,6

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。

ドルレアルスポットチャート



レアル円スポットチャート

